

4 段階評価      4 期待以上      3 ほぼ期待どおり      2 やや期待を下回る      1 改善を要する

学校経営ビジョン		夢や目標をもち、主体的に学ぶ、粘り強い生徒の育成。			
項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析 (○) 及び改善策等 (◇)	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	重点目標： 主体的な学びによる徹底した学力の向上	1 について ○ 1 年生の進路意識が低い傾向にあるが、2、3 年生は昨年と比べて進路意識が向上している。 ○ 多くの体験学習を通して、地域の良さや働く意義等について理解を深める取組ができた。 ◇ キャリアパスポートの活用を促進し、さらなる進路意識の向上を図る。	3	3.5	○ 生徒の学習のつまづきをなくすために、コロナ、インフルエンザ等で長期の欠席をする場合(3日以上)、タブレットによるオンラインの授業の実施をお願いしたい。  ○ 中学校の早い段階で、子どもの将来のことへの意識を高めることは大切だと思いますが、1 年生の意識が低いことは仕方がないことだと思います。引き続き、積極的に学校、家庭で意識向上に向けて取り組んでいただきたい。  ○ ICTの活用なしでは考えられない時代となっていますが、積極的に授業等で活用されているようで、評価できます。  ○ 英検、漢検もほぼ目標を達成されており、評価できます。
	手段： 1 キャリア教育の視点を生かした教育活動を展開し、具体的な夢や目標をもたせる。	2 について ○ 一人 1 回の研究授業を通して、効果的な ICT 活用の研究につながった。 ◇ 効果的な ICT の活用の仕方等について、さらに研修を深める必要がある。			
	2 小中一貫性のある学習指導、ICTの活用を展開するために、小学校と連携した授業改善を推進する。	3 について ○ 理解度の向上を目指して個別指導を含めた指導がなされていることから、生徒の評価は概ね良好である。 ○ 学力調査等の分析を継続的に行うことで、より具体的に陥没点を把握でき、授業改善につなげることができた。 ◇ 一単位時間における学びの確認を行いながら、更なる指導力の向上を図る。 ◇ 授業内容の理解度に生徒と保護者間で、評価の差がみられることから、家庭学習のあり方について研究を進めていく必要がある。			
	3 「個に応じた指導」を充実させることで、「できる・分かる」実感をもたせる。 4 英検の適切な級への受検を推進し、3 級合格 6 名以上を目指す。 また、漢検においては、3 級合格 9 名以上を目指す。	4 について ○ 3 級以上合格者は英語検定で 7 名、漢字検定で 8 名であった。おおむね目標を達成できた。 ◇ 今後も検定受験を推進していく。			

<p style="text-align: center;"><b>徳 育</b></p>	<p>重点目標： 道徳科を要として、心の教育の充実</p> <p>手段： 1 校内、校外を問わず、自発的で元気なあいさつを目指す。 2 道徳教育や人権教育の充実に努め、豊かな人間性を育むことで、「いじめゼロ」「不登校ゼロ」を目指す。 3 一人一人に寄り添う支援や教育相談の充実に努め、自己決定させる場面を意図的に設けることで自尊感情を高める。 4 生徒への支援を拡充し、長所を伸ばすことで前向きに取り組み困難を乗り越えようとする態度を育てる。 5 自発性・主体性を促す発達支持的生徒指導を推進し、生徒一人一人に自己指導能力を身に付けさせる。</p>	<p>1について ○ 生徒の自己評価は高いが、全体的に声が小さいと感じる。 ◇ その場での常時指導を継続していく。 ◇ 地域での活動等での交流機会を増やす。</p> <p>2について ○ いじめ等のトラブルは確認できなかったが、不登校の解消はできなかった。 ○ 道徳の時間を100%実施することができた。 ◇ 不登校については、今後も自己決定の場面を設定し、じっくり時間かけて取り組む。</p> <p>3, 4について ○ 生徒一人一人に、常時声かけを行うとともに、学期に1回全員を対象に教育相談を行った。今後も信頼づくりに努める。 ○ 悩みを抱えている生徒には、自己決定の場面を設定し、じっくり時間かけて取り組んだ。 ◇ 養護教諭との相談にも取り組む。</p> <p>5について ○ 学校行事やボランティア活動には、自発的・主体的に取り組んでいる。本年度は、生徒会のロゴマーク制作、高齢者施設へのメッセージカード送付、地域行事の準備・参加など積極的な取組が行われた。 ◇ 地域行事への企画段階からの参加や生産した作物の販売等にも取り組ませたい。</p>	3	3.5	<p>○ 不登校生徒の解消に努めないといけません、私たちがどの程度関与していかかわらず困っています。先生方も自宅訪問されている姿を見かけます。ご苦勞に感謝いたします。</p> <p>○ 不登校生徒については、学校での対応も難しい問題と思いますが、自己決定の場面を設定されるなどの取組は評価できます。いじめトラブルはなかったということで、学校、家庭で子どもをよく観察することが大事だと思いました。</p> <p>○ いきいき協議会の行事や祭りなどに積極的に参加してくれ、ありがたく思います。</p>
<p style="text-align: center;"><b>体 育</b></p>	<p>重点目標： 健康・安全教育、体力・競技力の向上</p> <p>手段： 1 家庭でのネット、ゲーム、スマホ等の使用時間について生徒・保護者への啓発を継続して行うことで、7時間以上の睡眠時間の確保を図る。 2 体力向上プランを基に体育的行事や部活動の指導の充実に図り、体力向上、競技力の向上を目指す。(Tスコア50以上35項目以上、県大会出場) 3 授業開始・終了時の立腰指導を徹底し、日常生活の正しい姿勢づくりを図る。</p>	<p>1について ○ 毎月実施している「いじめに関するアンケート」では、ネット上のトラブルは確認できなかった。年2回生徒を対象としたネット上の危険性についての学習を実施し、毎月の啓発活動に取り組んだ。 ◇ 取り扱いについては、生徒と保護者の認識に大きなずれが生じている。家庭との連携に努める。</p> <p>2について ○ 毎回、体育の授業の最初に体力の要素を高めるためのトレーニングを実施できた。34項目で平均を上回った。 ◇ 来年度も継続して個に応じた体力向上プランを立て、実践させる。</p> <p>3について ○ 立腰については、習慣化されつつある。 ○ 治療への啓発や個別指導を実施したが虫歯治療率が低い。 ◇ 家庭への働きかけを強化して、虫歯治療率の向上をめざす。</p>	3	3.3	<p>○ 共働きの家庭が多い中で、虫歯の治療に行くのも難しいのではないのでしょうか。家庭への働きかけの一つとして、長期休業中、生徒がコミュニティバスなどを利用してよいのではないのでしょうか。</p> <p>○ 生徒数の減少でチーム競技の部活動の維持が難しいというのは以前から危機感がありましたが、そのような中で、男子バレーボール部の県大会出場は、地域に元気が出る話題でした。</p> <p>○ ネット社会の中で、今後子どもたちに与える精神的・肉体的な影響が心配です。今後も、可能な限りの指導と、家庭との連携を継続してお願いいたします。</p>

食育	<p>重点目標： 健康な身体づくりのための「食」に対する意識高揚と実践力の向上。</p> <p>手段： 1 残食〇を基本とした給食指導の充実及び朝食の重要性を啓発することで朝食抜き〇を目指す。 2 「弁当の日」の発達段階に応じた具体的な到達目標の設定と家庭への啓発により確実な実践（年5回）を目指す。</p>	<p>1について ○ 定期的に食育だより（通信）を発行し、食に関する啓発活動を行った。さらに、外部講師と連携して、食に関する学習も実施した。 ◇ 来年度も外部講師と連携して、食育を推進する。</p> <p>2について ○ 年間5回の弁当の日を主体的、計画的に指導、実施できた。 ◇ 取組には、生徒と保護者の認識に大きなずれが生じている。生徒・保護者に「弁当の日」の発達段階に応じた具体的な到達目標の設定と家庭への啓発を行う。</p>	3	3.5	<p>○ ジェンダー平等を目指す中で、弁当作りも、素晴らしい取り組みだと思います。</p> <p>○ 定期的な「食育だより」の発行など啓発活動が実施され、給食の残食・朝食抜き〇につながっているのではないかと評価できます。</p>
その他	<p>重点目標： 保護者や永久津小学校、地域との連携の推進</p> <p>手段： 1 小・中管理職や主任の打合せ強化と合同職員会議の充実及び保護者や地域との連携強化を推進する。 2 学校だよりや学級通信の定期的な発行とホームページの積極的な更新を行う。 3 効率的な業務の推進を図る。</p>	<p>1について ○ 小中合同の職員会や研修を実施したことで、円滑に合同行事計画の全実施ができた。 ○ 健幸こばやし大運動会、永久津ドンと祭りなどに地域の一員として、多くの生徒・保護者が関わることができた。 ◇ 今後も合同行事計画の全実施を目標に職員会や研修会の充実を図る。 ◇ 簡略化できるものは、改善を図る。</p> <p>2について ○ 学校だよりや学級通信等の定期的な発行、ホームページの更新を通して、積極的に外部への情報発信ができた。 ◇ 今後も積極的に学校情報公開を進めていく。</p> <p>3について ○ 目標の月当たりの時間外勤務時間 80 時間以上の職員ゼロを達成できた。</p>	3	3.7	<p>○ 地域行事での中学生の支援は大変ありがたいです。提案を受けた企画段階からの中学生の参加も検討していきたいと思います。</p> <p>○ 先生方の働き方改革も継続して進めていただき、メンタルケアなどにもご尽力くださいますようお願いいたします。地域行事への先生方の参加については、働き方改革の面から言うとう心苦しい面もあります。先生方が負担を感じずに、地域とかかわりが持てるような制度についても検討していただきたいです。</p>

次年度の方向性についての校長所見	<p>永久津中学校の教育目標及び学校経営ビジョンの実現に向けて教育活動を、保護者をはじめ、地域の皆様や関係諸機関の御支援、御協力をいただきながら取り組み、行うことができた。次年度は、アンケートで見えてきた「生徒と保護者の認識に大きなずれ」が生じている家庭での時間の使い方について、家庭との連携を推進していきたい。また、令和7年度の本中学校区の研究公開に向けた、小中合同の学力向上を図るための授業改善、思いやりの心を育みいじめや不登校〇に向けた具体的な取組を進めていきたい。</p>
------------------	--